

ITインフラのすべてをサービス化
 お客さまのニーズに合わせてライフサイクルを支援する選択型運用サービス



Cotoka for Systems

ITインフラの課題



多様化するワークロードを
 いいとこどりするハイブリッドITは
 当たりまえとなったが、
 どのように管理すべきか？



2030年までにIT人材が不足
 する中で、従来より人手とコスト
 をかけていたインフラの運用は
 どうあるべきか？



DXに向けての最大の足かせ
 は既存ITインフラの運用コスト
 と要員不足。
 それでも生産性の向上が求め
 られている。

76.4%

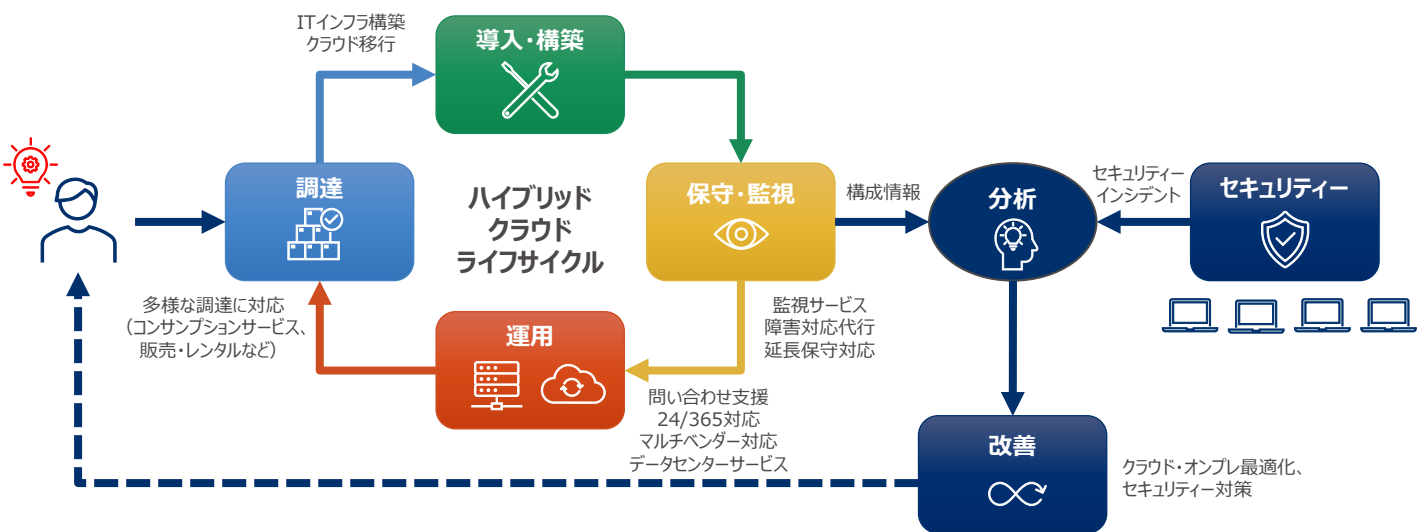
DXの推進に取り組むことの重要性は広がる一方で、デジタル投資の内訳はDXレポート発出後も変化がなく、既存ビジネスの維持・運営に約8割が占められている状況が継続

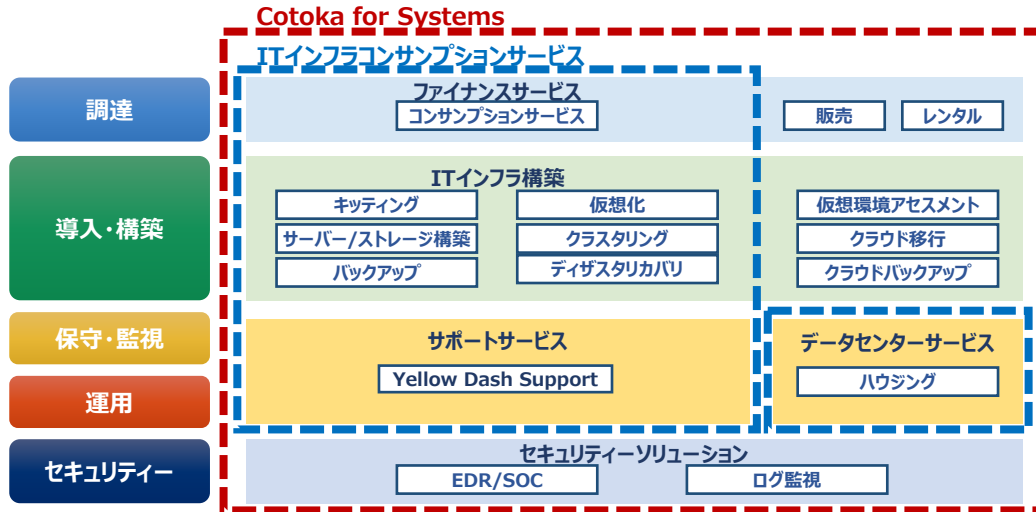
2022年7月 経済産業省発行 DXレポート2.2 (概要) より

Cotoka for Systems

ITインフラのすべてをサービス化

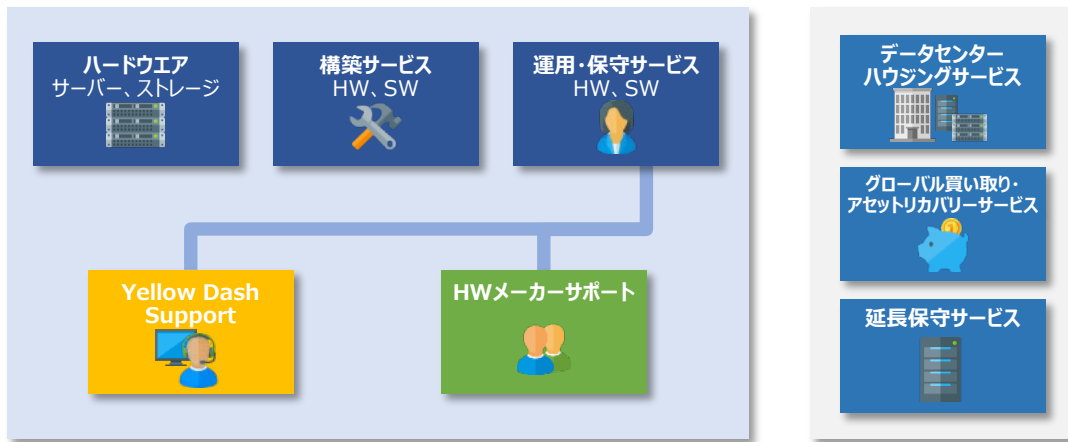
Cotoka for Systems	
主なお客さま	アプリとインフラの運用を切り離している情報システム部門のお客さま
主なニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 既存のITインフラの運用に人と工数がかかっており、なかなかDXにシフトができない。 運用要員が不足している ハイブリッドクラウド環境の運用を効率化したい など





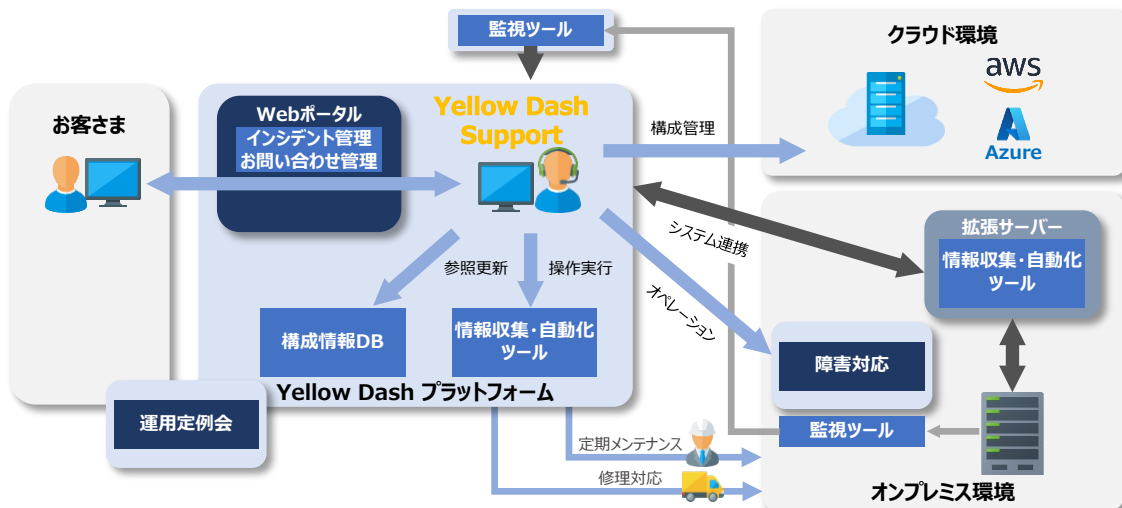
ITインフラコンサンプションサービス

オンプレミスのITインフラ環境をパブリッククラウドのように利用できる月額サービス



Yellow Dash Support

Webポータルを経由した構成情報の一元管理とアカウント管理体制によってITインフラのかかりつけ医のようなサポートと、運用の自動化を含めたハイブリッドIT環境の運用を支援するサービス



- 記載の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- 記載事項は変更になる場合があります。

横河レンタ・リース株式会社

<https://www.yrl.com/>

お問い合わせ